



CORPORATE REPORT 2022

2022年12月期
第3四半期決算報告

2022年1月1日



2022年9月30日

GMO INTERNET GROUP

証券コード：9449

岩盤ストック収益をベースに、 持続的成長を実現



代表取締役会長兼社長 グループ代表

熊谷 正寿

売上高および各利益段階で最高業績を更新



当第3四半期累計期間(1-9月)の連結業績は、インフラ事業、金融事業そして広告・メディア事業が好調に推移したことに加え、第2四半期においてインキュベーション事業での投資有価証券の売却もあり、暗号資産事業は活況だった前年比で苦戦したものの、同期間の最高業績を更新しました。

インフラ事業は、セキュリティの伸長とアクセスの復調により増収スピードが加速しています。のれん償却や戦略投資をこなし、増収増益となりました。広告・メディア事業は、自社商材・自社メディアが好調に推移し、V字回復トレンドが継続しています。金融事業は、FX取引において一方向の円安進行により収益性が低下しましたが、CFD取引が好調に推移したことに加え、外貨ex byGMOのグループジョインもあり、増収増益となりました。暗号資産事業は、活況に推移した前年から相場環境が一変し、損失を計上しました。

なお、当第3四半期(7-9月)において、事業計画の遅れからGMOあおぞらネット銀行株式会社に対する特別損失の計上があり、四半期純損失となりました。しかしながら、ネット銀行事業が私たちの今後の成長ドライバーとなるという考えは変わっておりません。強みである岩盤ストック型の収益モデルの構築に注力し、事業展開を行ってまいります。ご期待ください。

連結業績ダイジェスト (2022年7月1日▶2022年9月30日)

▼第3四半期決算のポイント

当第3四半期	
売上高	営業利益
 57,578 百万円	 7,069 百万円
(前年同期比 2.0% 増)	(前年同期比 11.8% 減)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業	
売上高 38,074 (10.9% 増)	営業利益 4,753 (18.2% 増)

当四半期のポイント

- セキュリティと決済が売上高を牽引、前年同期比10.9%増
- のれん償却と投資をこなし、前年同期比18.2%増の利益確保

インターネット広告・メディア事業	
売上高 8,886 (26.3% 減)	営業利益 737 (193.0% 増)

当四半期のポイント

- 会計基準変更により減収、旧基準では前年同期比増収・増益
- 広告代理の需要が想定以上に回復、自社メディアも収益拡大

インターネット金融事業	
売上高 10,002 (35.4% 増)	営業利益 2,683 (2.1% 増)

当四半期のポイント

- 連結化した外貨ex byGMOも寄与、四半期売上高100億円突破
- 店頭FXは取引高増加も収益性が課題、CFDは好調維持

暗号資産事業	
売上高 775 (78.9% 減)	営業利益 △821 (-)

当四半期のポイント

- 前年の活況から一転、マーケットは引き続き低調に推移
- 口座数・取引シェアは堅調、淡々と内部取り組みを実施

クローズアップサマリー

ESG/サステナビリティ経営の取り組み

私たちGMOインターネットグループは「すべての人にインターネット」をコーポレートキャッチとして掲げ、創業以来一貫してインターネットのインフラ、サービスインフラという、「なくてはならない」「なくなる」サービスを提供してまいりました。この事業活動に対する考えは、まさにサステナビリティそのものだといえます。これからもお客さまに最も喜ばれるNo.1サービスの提供を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することで、100年単位で続く企業グループを目指してまいります。

■ これまでの取り組み状況

電子印鑑なら

GMOサイン



コエテコ by GMO



GMO光アークス
for Education



GMO CYBER SECURITY
IERAE



社会・環境
課題の解決に
グループの
事業を通じて
貢献

当社グループでは、ESG開示の拡充に向けた取り組みを進めています。これまでのプロセスとして、2021年には「サステナビリティ基本方針」を制定し、代表取締役グループ代表会長兼社長執行役員・CEOを委員長、取締役 グループ副社長執行役員・CFOをサステナビリティ担当役員とする「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。2022年にはグループ執行役員制度を導入し、サステナビリティ推進体制をより強固にしました。この8月にはESGデータのWeb開示もスタートしました。今後も引き続きESG開示の拡充を図ってまいります。

■ 今後の開示の方向性

2021

- SDGsへの取り組みリリース
- サステナビリティ基本方針策定
- サステナビリティ推進委員会設置
- CG報告書アップデート
- グループ執行役員制度導入

2022

- ESG開示拡充 (ESGデータ開示)

現時点

- マテリアリティ特定など

ESG開示の
拡充に
優先的に
取り組む

トピックス

期待に応えて激走、ニューイヤー駅伝出場へ

GMOインターネットグループ陸上部は、2022年11月3日に埼玉県で開催された「第63回東日本実業団対抗駅伝競走大会」において、3時間43分56秒のタイムで6位入賞を果たしました。これにより当社陸上部は、2023年元旦に開催予定の「第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)」への出場権を獲得しました。

東日本実業団駅伝は、ニューイヤー駅伝の東日本地区予選を兼ねており、上位12チームが出場権を獲得することができます。今大会には31チームが出場し、沿道からの声援を受けながら、さいたま市の埼玉県庁から熊谷市の熊谷スポーツ文化公園陸上競技場までの総距離76.9km(7区間)にわたる市街地コースをタスキをつないで走り抜け、激しい争いを繰り広げました。ニューイヤー駅伝には、チーム全員が万全の体制で臨みます。株主の皆様の熱いご声援をお願い申し上げます。

大会概要

第67回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)



開催日 2023年1月1日(日)

会場 群馬・前橋

住所 群馬県庁(スタート・フィニッシュ)
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1-1

ハッシュタグ #ニューイヤー駅伝

GMOインターネットグループ陸上部の活動については、こちらからご確認ください。

<https://athletes.gmo.jp>



株主様向けインフォメーション

1 四半期配当(無配のお知らせ)

当四半期は無配

当第3四半期会計期間(7-9月)は四半期純損失となったことから、大変申し訳ありませんが、当第3四半期配当については無配とさせていただきます。なお、1月から9月の累計の配当金額では前年を上回る水準となっておりますので、第4四半期も引き続き努力してまいります。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2022年	19.6	28.0	0.0	-	47.6
2021年	17.1	12.2	10.8	12.6	52.7

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。

※株主優待の申請手続きや、より詳しい情報につきましては株主優待申請サイトをご確認ください。

▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 お問い合わせ先

- 株主優待はこちら
(GMOインターネットグループ株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

- 株式事務手続きはこちら
(三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)

0120-782-031(フリーダイヤル)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)